

## 牧島保育園の運営に係る第1回三者協議会会議録

---

開催日時 令和4年5月31日（火）18:30～19:30

開催場所 牧島保育園遊戯室

出席者 牧島保育園保護者（保護者会）代表 他2名

社会福祉法人明志会 理事長 他2名

市子育て支援課 山口課長、佐々木室長、池田

牧島保育園 野村主任

---

### 会議内容

#### 1 開会

#### 2 あいさつ

山口子育て支援課長があいさつ

#### 3 自己紹介

#### 4 三者協議会設置要綱について

資料1にもとづいて、佐々木室長が説明

#### 5 協議事項（議長：山口子育て支援課長兼本協議会会長）

##### （1）三者協議会副会長の選出について

保護者（保護者会）から代表の副島氏に決定

##### （2）牧島保育園の民間移譲に係る経緯について

資料2にもとづいて、佐々木室長が説明

（質疑なし）

##### （3）牧島保育園の民営化後の運営に係る意見等について

佐々木室長が説明

（質疑）

議長） 繰り返しになるが、社会福祉法人明志会が運営する牧島保育園となり、4月から2か月経過したところである。先ほど、自己紹介の中で、良かった点の意見もあったと思うが、保育園の運営にあたり、市や法人に対し、気になる点などあればよろしくお願ひしたい。

保護者） 保護者としては、金銭的な負担が気になっていた。先日の運動会を見る限り、新しい体操服を着ている園児が意外と多く、逆に以前の体操服を着ている園児が少なかった印象を持っている。そこに関しては、スムーズに移行が進んでいると思う。園児服や代表者が変わり、新しい風が入ってきて、子ども達を違う目線で見ることができているし、今のところ大きな負担にはなっていないと思う。

- 保護者) 法人の運営になり、特段変わったとは感じていない。リトミックが始まったと聞くので、これから少しずつ変わっていくと思う。子どもは、何も言わないが、良いのだろうと思っている。少しずつ変わる中で、意見が出てくるようになると思う。
- 法人) 経過の中でもあったが、これまでの牧島保育園の運営を引継ぐという基本的な考えがある。ただ、明志会としては、これまでも楠久保育園で保育に携わっていて、その色合いをもっと出して欲しいとの意見ももらっている。その色合いを徐々に出すという中で、大きな行事として、先週の土曜日に運動会があり、職員も一丸となり、取り組むことができた。先ほど話があったが、5月からリトミックを導入し、6月からは体育教室を始めたいと思っているので、保護者の皆様も楽しみにしてもらいたい。
- 議長) 今、話があったが、これまでの牧島保育園の良いものは引継ぎながら、楠久保育園で培われた強み、特色を生かし今後運営されると思う。また、保護者が子ども達を安心して預けることができる保育園を運営するのは本当に大変だと思う。さらに、現場の先生方が本当に良くしてもらっていると思うので、本当にありがたい。他に、先生から何かないか。
- 主任) この牧島保育園に異動という異動はしてないが、4月からはこちらに配属されている。私としては、保護者の方も今までと変わらないし、園児も可愛いので、新しい体制での運営が始まるまでは多少の不安があったが、伸び伸びと仕事をさせてもらっている。今までの牧島保育園の良いところを残しながら、今年度は互いの良いところ取りをしながら、運営していきたいと園長と話をして進めている。運動会もお陰様で元気良く楽しく取り組むことができ、無事に終わることができて、一つ一つの行事を節目としながら、子ども達の成長を一緒に見守っていききたいとの思いで頑張っている。
- 保護者) 不安があったかもしれないが、子どもも、変わらず保育園に行ってくれるので、大丈夫だと思う。特に他の保護者と話をしても、ネガティブな意見は聞かないので、今のところは良い状態だと思う。
- 法人) 色々な困りごとが起きたり、これはどうかと思われたら、保育園に言ってもらいたい。重ねて、牧島保育園の正面玄関の横に郵便受けがあるが、その隣に白いポストを置いている。面と向かって言えない要望や考えを書いて入れてもらうように準備しているので、そちらも活用してもらいたい。また、ICT化の補助金を活用し、一斉メールを発信することが可能になった。保護者にアプリを取得してもらい出欠もだが、意見もやり取りができるようになっていたので、活用してもらいたい。
- 議長) 他に質問などはないか。また後から全体的な面で尋ねてもらって構わない。

#### (4) 牧島保育園の新施設の在り方について

参考資料にもとづいて、佐々木室長が説明

(質疑)

議 長) 事務局からの説明のとおり、牧島保育園の新しい施設については、まず市と明志会で協議を行い、叩き台を作成した上で、保護者の意見を聞きたい。それが全て反映できるか分からないが、可能な範囲で保護者の意見を反映させた新しい施設にしたいと思っている。また、今年度中には新たな牧島保育園の施設でいつから保育を始めるかの時期についても決定したいと思っている。その他、新たな施設の整備に関し、保護者からの意見などがあればお願いしたい。

事務局) 現在、公立の場合はご飯を自宅から持ってきているが、楠久保育園では米飯も提供されていて、そこに関しては、昨年度の三者協議会の中で、新しい施設になった場合は、給食室に炊飯施設を造り、ご飯とおかずを提供してもらうことは決めている。

園 長) 4月から園長として勤めているが、この2ヶ月の中で、1歳児の入園の連絡を2件もらった。また、今日のことになるが、0歳児を8月から受け入れてもらえないかという問い合わせを受けた。実は、保育室の面積などの問題でなかなか受け入れが難しいところがある。保育所では、0歳児は1人の保育士で3人、1歳児、2歳児だと1人の保育士で6人保育できるなどの基準がある。職員配置は、昨年比で3人増えているが、保育室の面積の基準でいうと、悠長にはできない、早く建て替えることが必要だと感じている。また、この地区は、造船関連や半導体関連の事業所が近くにあり、市街地との要衝で利便性はあると思う。そのような中で、牧島保育園のニーズはあると感じているので、今、定員を60人から50人に下げている状況も、場合によっては60人から70人ぐらいに設定しても受け入れることができる要素があると考えている。できれば、市と法人、保護者を交えた建て替えの建設委員会で具体的な建設を進めていければと思う。初年度に色々なものを決めながら、また見学もしながら、2年目に設計が可能であれば、3年目には整備に取り組むことをおぼろげに考えている。

保護者) 1番上の子が1歳になる時に牧島保育園にお願いしたかったが、一杯で預けられなかった。すぐに受け入れが難しいとのことで、他の園を転々とし、長男は年長から牧島保育園に預けた。家もすぐそこなので、最初から入れる枠がもう少しあれば、入れたのだろうというのはある。もう少し小さい子が預けられたら、最初からずっと牧島保育園に預けるという選択肢があると思う。今、ご飯の件を聞いて、毎日ご飯の準備は大変なので助かる部分と食中毒など大丈夫かなという心配がある。

議 長) 新しい保育園について、このようにして欲しいというのがあるか。

事務局) 大坪保育園を見てもらいイメージしてもらった方が良いと思う。

法 人) 今の予定としては、道路側に建て、ここを壊すことをイメージしていた。道路寄りに園舎が建て替わるのであれば、不測の事態の時に怖いという意見もあった。ちょうどここは園庭を含めて道路と離れている。向こうの空いているところに建て替えるとなった時、より道路に接してしまうことで、騒音の問題もあると思う。日中は大型トラックが行き交う時に、窓が震えるようなこともあるので、やはりここが1番良いとなる。もう一つは3年前の大雨で、実際に牧島コミュニティセンターに避難をした事例があり、今週の6月2日に水難訓練を行う。避難用具を準備し、子どもと実際に歩いて避難する。ここが少し低いので、避難せざるを得ないことがデメリットであり、それをここで建て直す時にどうカバーするかは、例えば、しっかりとした支柱を建て、下の空間を確保しながら、園舎は2階、3階など建築士の意見を聞きながら、どのようにするのが良いのかを確認しながら進めていきたい。

議 長) 先ほど事務局からあったように、大坪保育園を見てイメージしてもらおうと、色々なヒントが得られると思う。

法 人) 1週間後の来週の月曜日に保護者会を行う予定で、他の保護者とも協議すべきテーマでもあるが、具体的に都合の良い日程を調整し、次回の協議会で大坪保育園の園舎見学という流れができればそのようにしたいと思う。

事務局) 前日も夕方に施設見学をしたが、牧島保育園より大坪保育園は少し遠くなり、保護者が忙しくなるのかなというところがあるので、6時30分で難しいということであれば、少し時間を遅らせ6時45分や7時から始めるなどの対応ができると思う。

## (5) 今後の予定について

佐々木室長が説明

(質疑)

議 長) 事務局から説明があり、また皆様の意見を聞いたところ、緊急に問題がある訳ではないようである。皆様の貴重な時間を使うことになるので、概ね3ヶ月に一度開催する。何かあれば、その都度集まるという提案だが、それについてはどうか。

<一同了承>

議 長) それでは、今後の三者協議会は、概ね3ヶ月に1回実施することで、お願いしたい。

## (6) その他

法 人) 先ほども話の中で出てきた保護者との連絡アプリで、今後、園としては保育ドキュメンテーションに力を入れていきたいので紹介したい。保育ドキュ

メンテーションは、子どもの活動を写真や動画、文字などで視覚的に記録するものになる。そのメリットは、保育の見える化をすることができ、保育園、保護者、子どもの三者が活動を振り返ることができることである。そこで保育内容の確認や課題を明確にすることで改善しやすくなり、保育の質の向上につながる。ただ、職員がこれを今勉強中であり、今すぐに始めることが難しいが、一つ一つできることを増やしていき、どのようなことを保育園で行っているのかを、保護者に見てもらおうようにしていきたいと思っているので、楽しみにしておいてもらいたい。子ども達が色々なものに関心を示し、それについて家庭にも共有できればと思っている。今、保育士と職員会議の中で言っているのは、どちらかというとなんかに没頭している姿を背後からでも写したものが、保護者のもとに届けられ、それがその家庭の中でのコミュニケーションの一つとなるように提供できればと考えている。子ども達の家庭と保育園での姿が異なることが色々あるかもしれないし、逆にそこがリンクすることで子ども達の健やかな育ちにつながるができる。子ども達の活動一つ一つをとっても、保育士がどのような狙いで行っているのかも伝わりやすいのではないかと思う。

## 6 次回開催日について

令和4年8月31日（水）に開催することを決定

## 7 閉会